



# 救急医療を守るために

## 医師の働き方改革

病院などの医療機関は、市民の健康を守るために昼夜を問わず尽力しています。日本の医療は、医師の長時間労働に支えられてきました。一方で医師の長時間労働による健康への影響が懸念されています。医師の健康確保とともに、医療の質を確保することからも、医師が疲弊せずに働けることが重要です。

令和6年度から、時間外・休日労働時間の上限規制がなかった医師にも、一般の労働者と同程度である960時間を上限として適用される「医師の働き方改革」が始まります。救急医療の質を確保し、誰もが必要なときに、安心して適切な医療を受けられるようにするには「上手な医療のかかり方（医療機関の適正受診）」が大切になります。



厚生労働省  
ホームページ

## いざという時に備えてかかりつけ医を持ちましょう

病気や日頃の健康に不安を感じたり、気になることがある時は、まずは「かかりつけ医」に相談しましょう。「かかりつけ医」は、健康に関することを相談できる上、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる医師です。

「かかりつけ医」は、健康診断や予防接種などを受けるために身近な医療機関に行くことで見つけることができます。県内の医療機関を検索することができる「ふくおか医療情報ネット（福岡県医療機関情報案内）」も活用しましょう。発熱の症状の際には、「ふくおか発熱外来検索サイト」も活用できます。



ふくおか  
医療情報ネット



ふくおか発熱外来  
検索サイト

### かかりつけ医を持つ「3つのメリット」

- 1 病気の早期発見** 日頃の健康管理の相談ができ、患者本人や家族の身体をよく知っているのので、見逃しがちなサインを捉え、受診を促してくれます。
- 2 もしもの時の素早い対応** 患者本人や家族の病状や病歴、家族構成、薬のアレルギーなどを把握しているのので、もしものときに素早い対応をしてくれます。
- 3 専門家の紹介がスムーズ** 入院や高度な治療が必要な場合に、適切な病院や症状に応じた診療科を紹介してくれます。